

■ 城山 中学校

「学校概要」

昭和58年2月に元八王子中学校から分かれて開校し、その年の4月に第1回入学式が行われ、今年度で26年目を迎えます。

本校の南西5kmの地に戦国時代の武将北条氏照の居城であった八王子城(城山)がありました。校名はこれに由来します。近隣には城山小学校、式分方小学校の2校があり、城山小学校卒業生の全員、式分方小学校の約5割が本校に入学してきます。

城山地区は川町、元八王子二・三丁目の全域および式分方町・元八王子町一丁目の一部より成ります。この中、松子舞・霞ヶ丘・高尾台・グリーンタウン高尾・ホームスタウン等の各住宅団地からの通学者は全生徒の約50%を占めています。

保護者や地域の教育に対する関心は高く、学校に対して協力的です。



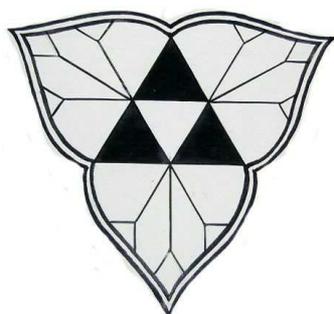
本校は、この恵まれた環境を活かしつつ、城山中文化ともいふべき良い校風・伝統づくりを力を入れていきます。今年度より地域運営学校となり2年間の研究指定を受けています。

「教育目標」

学ぶ・鍛える・思いやる

「校章の由来」

本校の周辺の山林には、カンアオイの自生が見られます。その三つ葉を放射状に組み合わせ、その上に八王子城(城山)の城主であった北条氏の家紋「三つ鱗」を配したのが本校の校章です。三つ葉のカンアオイは、川町、式分方町、元八王子町の三地区の一体化を表しています。三つ鱗は、生徒を中心に新しい文化を創造し、更に積み上げ発展させていく向上の意志を象徴したものです。校章制定のために公募した作品の中から常盤庄司氏のデザインが選ばれました。



「校歌」

作詞 宮沢 章二
作曲 小山 章三

(一)

山よ 緑の 手をあげよ
青春は いま 光る花
天に呼びかけ 地に燃えて
城山中学 自主の庭
学ぶ 鍛える 思いやる

(二)

薫る いのちの 友集い
奮い立つ意気 湧く力
多摩の 浅川 澄む水よ
行きぬくわれらの 影うつせ
風に明るく たくましく

(三)

胸に 未来の 火を点す
ふるさとの愛 八王子
窓よ かがやけ 幸満ちて
城山中学 わが母校
実る 喜び 知恵のうた